



これからは未来を共有する地域づくり 「20周年に思う」

柏市増尾近隣センター運営協議会
副会長 足達 寛

創立20年、もう此処まで来てしまったかという想いがひとしおです。私の場合、当近隣センター区域内でも面積・人口とも最大の規模を有する増尾町会にあって、町会長としての務めと協議会活動という二足の草鞋を長年履き続けてきたせいもあるのだと想います。二足の草鞋といっても、この二つは車の両輪の様なもので不即不離の関係にあり、2人3脚のように片方の軸足同士が結ばれて一つになっていることから、上手く調子をとらなければ進まないという難しさがありました。町会の仕事も今では単なる行政連絡的機能だけでなく、様々な問題や課題に主体的に取り組まなければならなくなってきています。しかし、それらの問題のなかには町会の枠を超えて、より広い区域全体で考え解決していかなければならない問題が出てきていることも確かな事実です。その点で私は、これまで及ばずながらも町会と協議会両者間の橋渡しの役目を務め

てきたつもりであります。

無論、協議会活動には、より多くの地域の皆さんとのふれあい・交流の輪が広がっていくという喜びと楽しみもあります。例えば芸能大会でも体育祭でもよい、一つの催し物を通じてえられる充実感という手応えは、そういう活動に従事した者でなければ得られない無上のものではないかと思っています。

私達がこれまで唱え実践してきたふるさとづくり運動は、失われた古き昔を懐かしむ運動ではないはずで、21世紀を迎え、真に新しい創造的なコミュニティ活動の場を創り上げていくことが私達に課せられた責務といえます。今回の実施計画で市が掲げた市民との協働というスローガンも、この事無くしては実を結ぶものではありません。これからも、私の力の及ぶ限り皆さんと共に頑張っていきたいと思っています。

(20年のあゆみ…冊子より転載)

お世話になりました 退任のご挨拶

前増尾近隣センター所長 桜井 宏一

仕儀 今般3月末日を以って定年退職いたしました。在職中皆さまから頂きました身に余るご厚情に深謝申し上げますとともに、これに十分報いられたわが身の腑甲斐なさを併せてお詫び申し上げる次第です。

省みれば4年前出張所長として、というよりセンター長としてこの地に赴任したわたくしは、皆さまの心やさしい歓迎を受けながらも、かくまでうちとけて親密な交流ができるようになるとは思ひもありませんでした。協議会や町会、その他関係機関の役員の方々は言うに及ばず、日頃センターをご利用頂くサークルの方々や周辺住民の皆さまとも少なからず心を通わすことができたことはわたくしの、無上の喜びとするところであります。近時市民サービスについての小難しい議論があることは承知しているつもりですが、最上の市民サービスとはやはり心のふれあいを通して得られた信頼関係の上にしか成立しないものであると考えます。時代や社会の現象は、人々の信頼関係の構築を絶望的にするような傾向をなしとしませんが、それも決して望みなきにあらずであることを、わたくしは皆さまとの交流を通して身をもって痛感いたしました。

信頼関係とは突きつめれば日頃私たちが取り交わす言葉そのものであり、それを保証するのは人間としての誠実さであると思われま。わたくしはこの地にあって、たとえささやかな日常的身近世界であっても自己が立ち向かう世界に対して常に爽やかな微笑をもって健気に生きる人々と出会うことができ、そこに地域社会を実感いたしました。これこそわたくしがこの4年間に皆さまから教えられかつ自身が学び得た最大の収穫であったと申せましょう。三十数年に及んだ私の公務員生活の最後に皆さまから得たこの教えは図らずもわたくしの第二の人生の指針としても有効に生かされるものと確信します。本当にありがとうございました。おすびに、わたくしの敬愛する文学者蓮田善明の一

首を以ってお別れのご挨拶とし、併せて皆さまのますますのご健勝と地域のご発展をお祈り申し上げます。

ふるさとの驛におりたち眺めたる
かの薄紅葉忘れなくに 2002.4.1



▲増尾ガーデニングの皆さんと共に (後中央)

コミュニティリーダー 育成事業講演会に参加して

2月16日柏市ふるさとづくり協議会等連合会主催による、ノンフィクション作家加藤仁氏による「定年と介護から考える地域づくり」と題して講演会が開催されました。加藤氏は、作家としてドキュメント、ルポタージュ等を手がけ、定年退職者への取材、又ご自身の経験から、介護問題をテーマにした著書もあります。定年退職者から取材して考えられることは、現在多くの情報が溢れていて、それらに惑わされ、特に健康に対しては心配をしすぎる傾向にある。その様なことよりも今、自分が生きている喜びを味わって見ることが大切である。それには何歳になっても大好きな趣味を持ち、一方で興味を持てるものを勉強していくことが必要である。また地域の中で未来を共有できる仲間づくりを大切にしたい。介護問題では、自身の親の介護の経験から、多くの老健施設を訪問したが、学区内に1ヶ所10名程度収容の家庭的な雰囲気を持つホームが作られ、お互いに依存せずに生活していくことを第一として、自分達の生活を楽しみながら地域の中で生活していくことが願わしい。以上の様な講演でした。

保健体育部 吉見 瑠子

お知らせ

総会開催について

平成14年度増尾近隣センター運営協議会の総会が5月12日(日)開催されます。協議会委員には改めて文書で通知いたしますが、各町会・自治会からの委員推薦は4月30日までに変更報告資料を提出願います。
(総務部)

ゴミゼロ運動について

例年通り雨天決行の全市全地域で繰り広げられるゴミゼロ運動に今年は5月26日(日)8時30分よりご参加をお願いします。
尚、各町会・自治会では分別収集して最終ゴミ収集所の増尾近隣センターへ10時までに運び込みをお願いします。
(環境部)

センター夜間利用のお勧め

近隣センターの予約システム(有料)もようやく1年が過ぎて、一時の混雑や混乱がなくなり、皆さんには安定したご利用をいただけるようになりました。
ただいま、体育室をはじめとして料理実習室や会議室等の夜間利用に余裕があります。これから日に日に暖くなる季節、皆さんのサークル活動にセンターの夜間のご利用も是非ご検討ください。

また毎月第1・第3月曜日を除く第2・第4月曜日等は閉館日となっておりますので念のため。

なお申し込み抽選がはずれてしまい、どうしてもその日以外に日程の調整がつかない場合など、近くでは増尾ふるさと会館のご利用もできるようになっています。詳細はセンター窓口でもご案内いたしますのでお尋ねください。

センター駐車場の夜間閉鎖について

防犯や周辺民家への迷惑防止のため、休館日や夜間9時過ぎのセンター駐車場は使用できなくなりました。裏手駐車場への出入り口は鎖でロックされますので十分ご留意ください。

柏市ダイオキシン類発生抑制条例について

この条例は平成13年9月20日より施行されました。
*ごみ焼却炉設置には説明会の開催が必要です。
*すべてのごみ焼却炉の設置に管理責任者の届け出が必要。(14.4.1より)
*野焼きは禁止です。

以上のことにつき市職員から説明とお願いがありました。詳しくお知りになりたい方はお問い合わせください。 柏市環境保全課 (7163-4422)



あなた、やりますか？ 地域活動と生涯学習！

新春囲碁将棋大会¹/20日

恒例の新春囲碁将棋大会がH14年1月20日(日)、盛会の内に終了致しました。大会の成績を下記に記します。

例年通り有段者の参加が多く、緊迫した雰囲気で大大会を終えました。今後有段者は勿論、初心者の参加を期待したいものです。



▲お隣は勝負がついたのかなあー！



▲おじいちゃん頑張っ！子供たちにもブーム

<囲碁の部>

Aクラス

- 優勝 金子幸男様 (加賀 6段)
- 準優勝 宮本成文様 (今谷上町 6段)
- 3位 斉藤昭宏様 (加賀 6段)

Bクラス

- 優勝 御子神宏様 (増尾 3段)
- 準優勝 西田 裕様 (増尾台 2段)
- 3位 徳田 稔様 (加賀 3段)

Cクラス

- 優勝 辰巳嘉光様 (加賀 8級)
- 準優勝 佐藤秀哉様 (東逆井 3級)
- 3位 川崎速雄様 (増尾 2級)

<将棋の部>

Aクラス

- 優勝 松長喜久郎様 (加賀 4段)
- 準優勝 森岡 暁様 (加賀 2段)
- 3位 木村 勝様 (増尾 4段)

Bクラス

- 優勝 吉田俊雄様 (増尾台 1級)
- 準優勝 大野正之様 (増尾 初段)
- 3位 三枝 守様 (増尾 4級)

本大会運営に関して下記の方々にお世話を頂きました。ありがとうございました。

<囲碁の部>

- 古賀成行様 (増尾) 八島朝一様 (増尾)

<将棋の部>

- 並木幹夫様 (増尾) 木村 勝様 (増尾)
- 松長喜久郎様 (加賀) (文化部)

お詫びと訂正

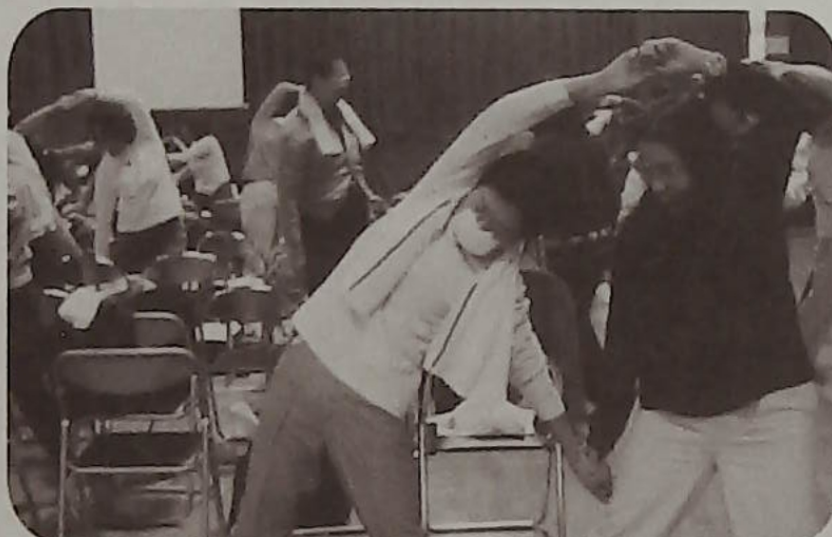
「ふるさと」60号の裏面文化祭
11/3~4の誤りでした。

健康教室²/23日

～ストレッチでストレス解消～



▲福光英彦先生の指導を受ける参加者たち



▲ストレッチ体操は無理せず、ハイ伸ばして…！

2月23日午後、おなじみの筑波大学附属盲学校教諭福光英彦先生を講師にお迎えし健康教室を開催しました。柏市広報紙や増尾近隣の情報を集めた「まちをあるこう」ホームページ等の効果もあって、スタッフを加えると70名以上の参加となり、実技ではカーペットからはみ出して受講される方も出るほどでした。今回も社会保険健康事業財団から借用したビデオで筑波大学鈴木正成教授によるダンベル体操の紹介もありました。ビデオ機器の不調で一時参加者にもハラハラさせてしまいましたが、実技、講話、実技、講話と小刻みの流れで内容も濃く、「楽しみながら継続することが大事」ということを強調され、二人で行うストレッチ体操の紹介もありました。

「深呼吸で鼻から吸う実感がない」という質問に、「鼻は身体に異物を入れない構造をしている。呼吸は口からではなく、鼻呼吸をおなかに手を当てて是非会得して下さい」と回答がありました。今回は20名近い男性の参加もあり改めて関心の高さがうかがえ、本企画を継続する必要性を確認しました。(保健体育部)

環境フォーラム参加

2月23日1時30分より中央公民館5階ホールにて市民・事業者・行政が協働して「環境の保全及び創造」について熱心に話し合いが持たれました。当近隣センターからは6名が参加しました。(環境部)

講演会「年金と生活設計」

昨年10月3日(水)当近隣センターに於いて10時～12時、講師千葉県金融広報委員会添田ミツ江先生を招聘し「年金と生活設計」についてお話しをしていただいた。生活の豊かさを支えるのは安定した物価は勿論であるが、持続する経済の成長にある。これらを実現するための条件はいくつかあるが、その一つとして国民一人一人の合理的な生活設計と計画的な貯蓄にほかならない、物やお金を大切に、健全な金銭感覚が必要である。 吉澤 栄

増尾近隣センター 芸能発表大会³/10日

春を身近に感じるなか、去る3月10日(日)当センター体育館に於て、恒例芸能発表大会が華やかに開催された。この大会も今年20回目という節目を迎え、これまで地域の人達に多くの関心をいただき、今では楽しみを倍増する、イベントとして根強く定着している。この日も世代を越えた心のふれあいを大切に、芸域の広い演技が披露され、例年を上回る盛況ぶりを見せていた。これからも地域福祉の一環として、幅広い企画を促進し潤いと実のある、芸能発表大会となるよう今後とも期待している。(福祉部)



▲唄う人、踊る人、出番を待つ人！



▲花笠音頭を踊る増尾町会のみなさん



▲パリエル曲に合わせて増尾フラダンスのみなさん

お別れコンサート 増尾西小学校



▲ジャズも吹いちゃう見事な演奏

3月2日土曜日、暖かな春の午後。増尾西小学校金管クラブの97名が心をつなげて6年生最後の記念コンサートが行われました。

父兄及び地域の方が招待され小学生とは思えないほどの演奏に惜しめない拍手を送っておりました。

終了後、地域のお年寄りからは花束が贈られ児童からは丹誠込めて育てたパンジーの鉢植えをお土産にいただきました。素敵な音楽を聴いた上に花に包まれて幸せな一日でした。 座間 幸子